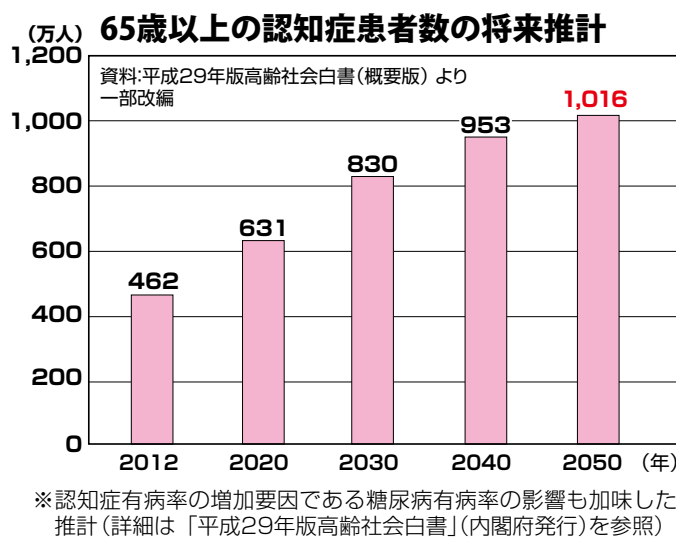


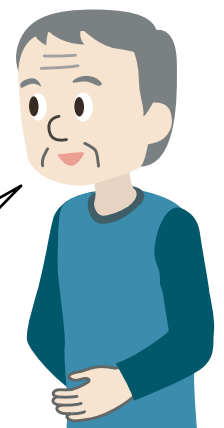
認知症1万人時代に備えて 市は認知症施策を進めています

■ 誰でも認知症に関わる可能性が



Q 認知症になる人は、これからどんどん増えていくの?

A そう。今も年々増えていて、2050年には65歳以上の認知症の人が1,000万人を超える可能性があると言われていているよ。今のうちから対策しておかないとね。



■ 大和市の認知症施策を紹介します

● はいかい高齢者個人賠償責任保険事業

認知症で徘徊する人が第三者に損害を与え、賠償責任を負ったとき、その損害賠償を補償する保険です。補償は最大3億円。被保険者の自己負担はありません。

保険が適用される例

- ・踏切内に誤って入ってしまい、電車に接触。鉄道会社に遅延損害を与えてしまった
- ・自転車に乗っていて歩行者にぶつかり、相手にけがを負わせてしまった

● 小型GPS端末と専用シューズを用いた徘徊高齢者位置確認支援サービス

認知症で徘徊し、行方不明になった人を早期発見、保護するため、小型GPS端末とその端末を入れて履く靴の利用を支援しています。靴に入れておくことでGPS端末の携帯率が上がり、早期発見に役立ちます。



● 脳とからだの健康チェック

タブレット端末を使った認知機能検査や簡単な体力測定(握力測定、5歩歩行)、保健指導です。

● シルバー・ドライブ・チェック

70歳以上の運転者による自動車の運転をドライブレコーダーで記録し、安全運転のアドバイスを実施します。

● 運動による認知症予防セミナー ～コグニサイズ体験

計算やしりとりなどの課題に取り組みながら運動をする「コグニサイズ」で、脳と体の機能を向上させます。

● 臨床心理士による認知症介護個別相談会・介護者交流会

臨床心理士が認知症の人を介護している家族の相談に応じ、介護どうしの交流会にアドバイザーとして参加します。

これらのほかにも、多くの認知症施策を進めています

来年4月 大和市 健康都市大学がスタート

市は、従前のやまと市民大学・のぎく大学の内容をリニューアルし、来年4月から「健康都市大学」をスタートします。

健康都市大学では3つの学部で学べます

市民でつくる健康学部 【新規に設置】	人の健康学部 【既存の講座を活用】	まちと社会の健康学部 【既存の講座を活用】
市民が講師となり、市民どうして学び合う新たな「居場所」。講師の経験談や趣味などをテーマに、気軽に聞ける講座を実施	市民一人一人の生活をより健康に、楽しく充実したものにする講座を実施 例)子育て講座、スポーツ教室、文学講座 etc.	地域や社会とのつながりを重視し、「まち」や「社会」の健康の実現に結びつく講座を実施 例)街づくり学校、国際理解講座、手話教室 etc.

「市民でつくる健康学部」の市民講師を募集します

経験や知識を生かして同学部で講義をしてみませんか。詳しくは応募ちらし、市ホームページをごらんください。

対象▶市内在住者

応募方法▶12月26日(水) (必着)までに応募用紙を直接、郵送またはファクスで〒242-0016大和南1-8-1 シリウス6階図書・学び交流課へ。インターネットによる電子申請も可。

※応募ちらしと応募用紙は同課で配布するほか、市のホームページからダウンロードもできます。

問い合わせは▶シリウス内図書・学び交流課学び交流担当 ☎046-259-6104 FAX 046-263-6680

市民交流拠点ポラリス アリーナがさらに利用しやすく！

アリーナの個人利用枠を拡大します

アリーナの個人利用では、卓球、バドミントン、バスケットボール(シュート練習のみ)をすることができます。

		月	火	水	木	金	土	日	
12月から 来年1月まで	午前	団体	団体	個人	個人	個人 団体 半面	団体	個人	午前
	個人						午後		
来年2月から	午前	個人	団体	団体	団体	個人	個人	個人	午前
	午後								午後
	夜間								団体

※ : 個人利用 : 団体利用 ※上記の利用枠はイベントの開催などにより変更になる場合があります。
 ※利用できる種目は各利用枠で決められています。利用方法、利用種目など、詳しくはホームページ(<https://yamato-hokubu.jp/>)をごらんください。

問い合わせは▶北部文化・スポーツ・子育てセンター市民交流拠点ポラリス ☎046-274-4361 FAX 046-276-1571
 シリウス内図書・学び交流課学び交流担当 ☎046-259-6104 FAX 046-263-6680